

一人と地域を大切に作る 未来に「つなぐ」みんなの庁舎

新庁舎整備のコンセプトとして5つのつなぐを基本理念としました



「明日」につなぐ

紀州材を活用した、5本1組のルーバー。これは、5市町村の合併を表現するとともに、熊野古道の木々を表現しています。左の焼印があるところは、5市町村それぞれから木材を切り出しています。庁舎内全体で、紀州材がふんだんに使われていることから、環境に優しく、木の温かみを感じられます。



「命」をつなぐ

津波の浸水想定域外の高台へと移転し、停電時に電力確保もできることから、緊急時の避難場所を示す灯台的な役割を担っています。また災害時に速やかに災害対応拠点へと機能転換できる、分かりやすいフロア構成となっています。



「人」、「心」、「信頼」をつなぐ

誰もが使いやすい庁舎をめざし、高齢の方や障害のある方が利用しやすいトイレの設置などユニバーサルデザインを徹底しています。また、各階にコミュニティスペースを設置し、3階の交流モールにカフェや売店を設けるなど、気軽に立ち寄ることができ、交流が生まれるスペースになっています。

市民総合センターでは引き続き貸館・休日急患診療を行っています

市民総合センターの大部分の行政機能が新庁舎へと移転しましたが、右記の施設の貸館、休日急患診療（23ページ参照）を行っています。
貸館について 問生涯学習課（生涯学習センター）
☎ 0739 (26) 4925

■貸館施設

- 2階：交流ホール、青少年ホール、会議室1、相談室1・2
- 4階：交流ホール、和室、会議室、児童遊戯室、料理実習室

※今後、貸館・休日急患診療については場所等を変更する場合があります。

特集 「つなぐ」庁舎

5月7日（火）、新庁舎がオープンしました。紀州材をふんだんに活用した庁舎は木の温かみがあり、コミュニティスペースやカフェ等の交流モールを設けるなど、市民の皆さんにとって利用しやすい庁舎をめざしています。新しくなった市役所にぜひ一度お越しください。
問新庁舎整備室（本庁舎4階） ☎ 0739 (34) 3336

新庁舎建設のきっかけ

南海トラフ巨大地震やそれに伴う津波等の被害が想定される中、以前の庁舎や市民総合センターが津波の浸水想定域にあり、建物の老朽化や耐震性についても懸念されてきました。

そこで、平成28年から整備方針や庁舎のあり方などをテーマに市民アンケートやワークショップ等を行い、市民の皆さんの考えを取り入れながら新庁舎建設に向けて検討を進めてきました。

復旧・復興を見据えた庁舎に

庁舎は地震など有事の際に、人命を守る災害対応と復旧・復興の司令塔としての機能が求められます。

そこで、建設にあたって、災害時に津波の浸水想定域外の高台であることと、まちづくりへの貢献という観点から、中心市街地から遠くない、駅から近いといった条件を満たす場所を選定しました。

また、免震構造により、建物自体が壊れないだけでなく、設備機器の損傷や家具等の転倒を防止し、地震や災害に強く、長く使い続けられる庁舎となりました。



人にやさしい

子育て中の方、高齢の方、障害のある方、外国の方など誰もが使いやすい庁舎になるよう、ユニバーサルデザインを徹底しました。

バリアフリートイレ設備のご案内

	L型手すり	オストメイト	介助用ベッド	着替え台
6F 右	●	●	●	●
5F 左			●	●
4F 右	●			●
3F 左			●	●
2F 右			●	●
1F 左	●			●

様々なバリアフリートイレ 1階～6階

各階の東側にバリアフリートイレを設置しました。階ごとに、右半身又は左半身が不自由な方用の手すりの設置、オストメイト対応設備、介助用ベッドの設置等、様々な組合せを選べるようになっていきます。また、扉は押しボタン式の自動扉です。



さらに!

- ・和式トイレを設置（1階のみ）しました。
- ・全ての洗面台は、車いすの方でも利用できます。
- ・手すりは、車いすを利用する方には使いにくいいため、一部のみ設置しました。
- ・緊急時の呼び出しボタンは便器に座ったままでも、床に倒れた状態でも対応できるように、2か所に設置しました。
- ・サンタリーボックスは、尿漏れパッドやおむつが必要な方がいるため、男子トイレにも設置しました。



田辺市身体障害者連盟会長
まさお 幡山 雅雄さん

これ以上ない安心感

私は半身が動かず、車いすでの生活をしていますが、トイレの引き戸が勝手に締まるのではなく、ボタンで開閉し、ひとつひとつ音声で教えてくれます。障害がある方もない方も関係なく、誰もが1人でも使えるようになっていて、これ以上ない安心感があります。

来庁者が多い2階と3階には、強度なプラズマを発生させる装置が設置されています。空気清浄のほか、ウイルス抑制と除菌もさながら、庁舎内の空気環境を整えています。

「ウイルス対策！」

2階 3階

子育て中の方も安心



トイレ 1階～6階

ベビーカーごと入れる広めのトイレのほか、おむつ交換台や着替え台、ベビーチェアも設置しています。

授乳室 2階 6階

- ・おむつ交換台
- ・授乳ソファ
- ・洗面化粧台（自動水栓であたたかいお湯も出ます）
- ・おむつ用ごみ箱

2階 キッズトイレ



キッズスペースを設置しています。

安全と安心のよりどころに

有事の際には、速やかに市の司令塔として市民の皆さんの安全と安心のよりどころとなるように、フロアごとに分かりやすく機能を割り当てました。そのこだわりの一部を紹介します。

6階 議会フロア

5階 意思決定・連絡調整フロア

4階 復旧・復興フロア

3階 生活支援・情報配信フロア

2階 要配慮者支援フロア

1階 津波避難の一時避難フロア

多目的ホール

1階

駐車場 多目的ホール

- 津波災害時の一時避難先として、約2,300人が受け入れ可能です。
- ・一時避難者が一晩過ごせるよう、食料やトイレ用品、寝具等を備蓄しています。
- ・太陽光発電システムのコンセントを複数用意し、携帯電話機の充電ができます。
- ・トイレは雨水を利用しており、断水しても一定期間は使用できます。

2階 保健センター

- ・畳敷きの部屋があり、要配慮者等の避難場所となります。
- ・隔離が必要な避難者は、必要に応じて個室を利用することができます。

1階 北側広場

浄化槽上部に、マンホールトイレを設置します。

テレビにイドラゴンを設置

市で初めてイドラゴンを導入していただきました。地震が来ると発光して知らせてくれ、テレビ画面は手話での動画が流れる仕組みです。災害時、聴覚障害者は情報を知る方法がなく、避難に時間がかかっていましたが、視覚的に気づけるようになっていたので、とても安心できます。

今回の設置をきっかけに市内にもどんどん広まってほしいです。



田辺市聴覚障害者協会会長
さだお 愛瀬 貞夫さん

2階階段のナゾの段差

Check!

1階から2階に上がったところに段差注意の看板があります。庁舎棟は1階の全ての柱に免震装置を設置し、2階以上の揺れを軽減するしくみになっています。こうした理由から庁舎の真ん中にある階段にも免震のための隙間を付ける必要があり、段差ができません。お越しの際はご注意ください。



免震装置はこの内部に



▲免震装置は、振り子の原理を利用し、地震エネルギーを吸収しつつ、建物を元の位置に戻します。動画で分かりやすく説明していますので、ぜひご覧ください。



いい景色だね

6階は
展望テラスがおすすめ

新庁舎の6階にある「北・展望テラス」からは高尾山を背景に街並み、「南・展望テラス」からは街並みの向こうに田辺湾が見渡せます。展望テラス手前の休憩スペースにコーヒーを持っていくつろぐのもいいですよ。



休憩スペースでは持ち込み飲食も可能。落ち着いて勉強もできると好評です。

— 新庁舎の景色 —

「新庁舎が見たい」と来庁した2人。3階のカフェから6階の展望テラスまで見学してくれました。最初は1人でも見に行くと言っていたそうですが、市外から2人で一緒に来てくれました。この日は天気も良く、遠くまで景色が見えたこともあり、「きれい」「上からこの景色を見ることがないから新鮮」と、楽しんでくれています。

市役所の開庁時間
平日 8:30 ~ 17:15 (※のみ一部の窓口は 19:00 まで)



記念撮影スペース 3階

旧本庁舎にあった松（5月号掲載）が記念撮影スペースに！ちょっと立ち寄った記念や、大切な届出の記念にぜひ撮影を。



YouTube 田辺市建築課公式チャンネルで、新庁舎を動画で紹介しています！

新庁舎の整備に携わって



新庁舎整備室
原 係長

まずは新庁舎が無事に開庁を迎えることができ、一安心しました。開庁日には新庁舎にお越しいただいた皆さんが笑顔になってくれたのでうれしく思います。新庁舎整備室として特に意識してきたことは2つ。「命をつなぐ」災害に強い庁舎、「人をつなぐ」交流を生む庁舎です。平成28年に田辺市庁舎整備方針検討委員会が設置されてから多くの意見をいただき、津波の想定浸水域外の高台で、駅や中心市街地の近くであるこの場所への移転となりました。これからは田辺市役所そのものが変わったと感じていただけるように、職員一人ひとりがこれまで以上に力を発揮できるように取り組んでいきます。この庁舎が、皆さんに気軽に立ち寄っていただける癒やしの場所となればうれしいです。

親しみやすい庁舎に

市役所に用事がなくても、気軽にお立ち寄りください。お弁当や飲み物の持ち込み OK、勉強 OK。木の温かみを感じながら、自由な時間を過ごしてみませんか。

3階 正面玄関入ってすぐ右手



地域の4つの障害者支援事業所と社会福祉協議会が日替わりで運営し、障害のある方も一緒に働いています。曜日によってそれぞれの事業所の特色を生かしたオリジナルメニューもあり、何があるかは来てからの楽しみです！

カフェ カミーノ
Café Camino
営業時間 10:00 ~ 15:00

障害者支援事業所で作ったパンや焼き菓子、雑貨等を販売しています。また、子どもたちに利用してもらいやすいように駄菓子を置いていて学生にも人気です。市役所に来たときは、ぜひお立ち寄りください。



売店ピュア
営業時間 8:30 ~ 17:15

3階は交流モールド
くつろいで



散歩の
コーヒー
休憩に

左：太田 芳子さん、右：西村 和美さん
一緒に散歩するのが日課のお二人。この日は新庁舎が気になって見学に来てくれました。「建物がしっかりした造りで災害時にも安心できそう」、「また散歩の休憩に、コーヒーを飲んでくつろぎに訪れたい」と話してくれました。



コミュニティスペースは会社のミーティングなどにも利用できます。

婚姻記念に庁舎に焼印?!

○婚姻届を提出して、率直なお気持ちは？

今日からまた新しい気持ちで、二人で力を合わせて温かい家庭を築いていきたいです。

○婚姻届を今日にした理由は？

2年前に交際を始めた記念日が今日（5/7）だったことが理由です。新庁舎開庁日とは偶然重なりました。

○焼印のイベントがあることは知っていましたか？

知らなかったのですが、とても驚いています。夫婦で初めて行う共同作業。記念にもなるし、ここにずっと残り続けてほしいです。

とある 宮下 透さん、あやの 綾乃さん、おめでとうございます！

